



盛夏の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。コミュニケーション活動の一環として会員各位の相互理解をより一層深める一方策として、平成26年度から企業訪問を開始し、今回で28回を向かえました。企業訪問を通じて、会員相互の理解活動に少しでも貢献できればと思います。今回は6月17日に芝工業様さんを訪問しました。皆さんが廃炉に向け作業に取り組まれている状況を報告いたします。

【伊東所長から一言】



弊社は福島第一原子力発電所の入口近くに福島営業所事務所がありましたが、東日本大震災後、事務所を数回移転を行いながら、令和元年7月に富岡町駅前通りに事務所を再開設致しました。今後の廃炉作業に向けた1Fインフラ整備及び、建物設備設計・施工・点検整備事業の復興に向けてご協力させて頂いております。今後も地元貢献する企業として『安心』『安全』を主とし復興事業に貢献してまいります。

【福島営業所事務所】



・令和元年7月より
富岡町の新事務所にて運営再開。

【安全活動】

現場に寄り添った危険予知活動の実施と安全の啓発

<現場KYミーティング>



・現場によるミーティング実施と安全意識の向上を目標とする。



<安全啓発の案内掲示>



・定期的な表示の張替えによる、マンネリ化の対策を実施。



【災害防止協議会】

<災害防止協議会の開催>

・毎月の協議会の開催により、協力企業との情報共有を図ることを目的とする。



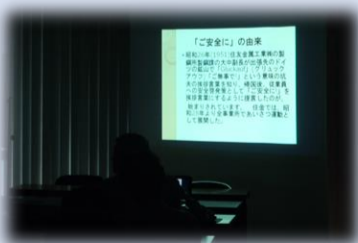
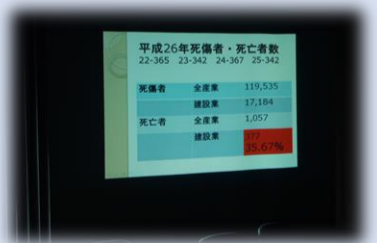
<東京本部安全部長による講和>

・本社に関連した安全対策を目的として実施しています。



<パワーポイントによる説明>

・安全意識の向上と写真による具体的な説明会を試みています。



【レクリエーション活動】

コロナ禍の影響前の様子です。



ボウリング部



自社保養所研修

編集後記



今回の発刊に当たり、伊東所長にはご多忙のところご対応いただき有難うございました。芝工業さんは、昭和41年に大熊町に福島営業所を開設されています。今回の訪問で、福島第一原子力発電所事故当時、伊東所長自ら過酷な状況下で懸命に復旧作業に当たられたお話を伺い、伊東所長をはじめ芝工業さんの地元福島県への愛着心と強い責任感を感じることができました。また、事故当時からこれまでの復旧作業が芝工業さんをはじめ多くの企業に支えられていることを改めて感じました。今後も長い廃炉作業が続きますが、貴社益々のご活躍を期待いたします。ご安全に！！

発行責任者；事務局長 中島 純一
tel；0240-23-6940 fax；0240-23-6942